

先輩社員 座談会

TABLE TALK

企業の先輩社員たちが集まっての座談会に、応援団が潜入！
座談会では、さまざまな考え方や意見が飛び出します。
企業や仕事内容を多面的にとらえて見ることができますよ。

坂井建設株式会社／ディテールホーム



長岡市に本社を置く坂井建設株式会社の住宅部門「ディテールホーム」。その高いデザイン性で、現在めきめきと人気上昇中の住宅ブランドです。ステキな住宅を作り出す会社には、ステキな先輩社員がいるに違いない！ということで、5名の若手社員の皆さんに会社や仕事の魅力をうかがいました。

基本データ

設立／1963年 資本金／2000万円 本社所在地／新潟県長岡市柄尾町丙455-3

連絡先／0256-46-0610（ディテールホーム県央） 社員数／70名（2020年2月現在）

売上高／42.0億円（2019年12月実績）

座談会参加メンバー



反町 紀之

設計部
設計・インテリアコーディネーター
2016年入社
新潟日建工科専門学校出身



牛木 百恵

設計部
2018年入社
長岡造形大学出身



田中 雄太

住宅事業部 営業
2017年入社
長岡造形大学出身



貝沼 楓

平屋事業部 営業
2018年入社
新潟日建工科専門学校出身



樋口 駿

住宅事業部 営業
2019年入社
新潟日建工科専門学校出身

人に惹かれ、デザインに惹かれて入社。



応援団：まずは、みなさんのお仕事内容を教えてください。



反町：私はお客様の住宅づくりの要望をヒアリングした上で、家の間取りやイメージパース等の資料作成といったプランニングをし、担当営業と協力してご提案をしています。お申し込みいただいた後は、コーディネーターに引き継ぎます。





田中：私は営業なので基本的にお客様からご契約をいただくことが仕事ですが、当社の営業は希望をすれば家のデザインもできるのが特徴。私は反町さんのように間取りのプランニングやインテリアのコーディネートなど設計部の仕事もしています。



貝沼：私は営業の中でも、資金計画や土地の提案、プラン見積もりが主な仕事です。



樋口：私も営業担当です。住宅完成見学会でのお客様との出会いをきっかけに、土地や資金の相談、プランニングからコーディネートまで広く携わっています。



牛木：私は反町さんと同じ設計部。間取りの確定後、細かい仕様を決めるためにお客様と打ち合わせをします。実施図面の作成依頼や内容確認もしています。



応援団：同じ「設計」や「営業」でも、仕事内容が微妙に違うのですね。職場の雰囲気はどうですか？



牛木：毎日楽しいです。みんな人がいいから、それが一番かな。



反町：牛木さんと私は中途入社で、他の会社も経験してますね。ここは若い社員が多くて話しやすいです。



田中：若くない人でも話しやすいよね（笑）。



反町：確かに。一番びっくりしたのは、社長や専務との距離が近いこと。新年会では社長自らビールを持って注ぎに回ってるからね。社長が自分の席にいなっていいう。



貝沼：私は新卒で入ったので、それが普通かなと思ってしまいますが、周りの人から「あそこはいい会社だよ」「あんないい社長いないよ」と会社のことをよく褒められたりと、とても評判が良いです。あと、住宅業界でもトップレベルの方々が多くいるので、すごい会社に入ったんだなと。



樋口：反町さんはどうしてうちの会社に入ったんですか？



反町：それはもう、家のデザインが良かったから。前の会社にいた時は施工管理の仕事をしてたんだけど、管理側から見ても面白い住宅だな、つくりたいなと思って。県内のデザイン住宅会社を見たときに、ディテールホームの建物が一番魅力的だったね。



田中：私も同じ。会社の詳しい情報はあまり調べなくて、長岡の「クロスタウン旭岡」で公開されていたモデル住宅を見て「あ、ここにしよう！」って直感で入社を決めた感じ。



樋口：こういうデザイン住宅がやりたい、というのはみんな共通なんですね。



反町：そうだね。でも実際に働いてみてギャップとかはなかった？



牛木：私は、こんなにワイワイしてる会社だとは思わなかったな。いい意味でみんなフランクで。お客様に対してはもちろん、社員同士でもしっかりとしたコミュニケーションを取れているから、魅力ある建物づくりができるのかなと思います。



田中：私は入社前後のギャップはほぼないかな。フランクなんだけど、やることはしっかりやる、という雰囲気も自分に合っていて、すごく仕事がしやすい。



貝沼：私は建物が好きで専門学校に行ってこの会社に入ったけど、実際に仕事を始めてみたら自分で作るのはちょっと違うみたい？と気づきました。でも建物を見るのは好きだし、人と話すことも好き。だから営業に徹しようと思っています。



反町：お客様と家のことを話す時間は本当に楽しいよね。



田中：仕事のスタイルとして、お客様と密に接することが多いから、心の距離が近づいて仲良くなりやすい会社だと思う。そこがディテールホームらしいかもね。

大変な時も一人じゃないから乗り越えられる。



応援団：仕事のやりがいや成長を感じるのはどんな瞬間ですか？



牛木：やっぱりお客様に建物の引き渡しが終わった時ですね。自分が関わったものはしっかり写真に撮って、今後の参考にしています。



反町：担当した家が住宅雑誌にバーンと載ったりすると最高だよね！



田中：そうですね。プレゼンがうまくいって契約が取れた時はやりがいを感じるし、実際にお客様が住まわれてから「とても使いやすい間取り、さすがです！」の言葉をいただけた時は本当にうれしかった。あと完成後もお客様とのつながりが強いよね。飲みに行ったり、食事のお誘いをいただいたり。



貝沼：私もたまたま届け物があってお客様の家に寄ったら「ごはん食べて行って～」と。仕事として担当していた時は大変なことも多かったけど、お客様アンケートでもいいコメントを書いてくれていて、うれしかったな。



反町：大変なことは必ずあるよね。でもピンチはチャンスというか、この仕事は「一人じゃない」ということに助けられている感じがする。現場の職人さんとも悩みを共有できるし。



田中：一緒に考えてくれる人がいるのが、この会社のいいところだよね。それは学生の時には分からないことかもしれない。



応援団：社員はどんな人が多いですか？



反町：それぞれ個性があるよね。あと、長岡支店は飲みニケーション多め（笑）。お酒好き、宴会好きの人が多いです。



樋口：仕事終わりにみんなで集まってフットサルすることもありますね。



反町：そうだね。世の中の流れもあって、残業は極力しないというのが会社の方針。上司が比較的早めに帰るので、部下も帰りやすいかな。でももっと時間をかけて仕事したい！と思うこともありますね。





牛木：私は前の会社で残業が当たり前だったから、遅くなるのは個人的には苦じゃないです。でも早く帰れるのは自分の時間ができるのでありがとうございますね。

仕事も、人としても向上し続けたい。



応援団：最後に、今後の目標を聞かせてください！



反町：仕事とプライベート、両方で「自分磨き」をしたいです。プライベートでは結婚したので、子どもも欲しいし、父親や夫という点でもふさわしい自分になりたい。そこに仕事が絡んでくるわけで、もっと知識を蓄えて、後輩や周りに影響を与えられる、そんな30歳を目指したいです。



牛木：上司や先輩、同僚などいろんな人がいろんなことを教えてくれる環境がディテールホームにはあると思う。たくさんのことを見習って、もっと仕事ができるようになることが目標です。資格に挑戦したりセミナーや講習にも積極的に参加するようにしています！



田中：私はお客様が喜んでくれる姿が何よりのモチベーション。一人でも多くのお客様に喜んでもらえるよう、デザイン全般について探求していきたいです。



貝沼：私は会社からもお客様からも信頼される人になりたい。原動力となっているのは家族の存在です。家族や自分の将来のために一生懸命仕事をすることで、自ずと成果が現れるのかなと思っています。



樋口：他社にないような提案や、ディテールホームの中でも新しい挑戦をしていきます！一級建築士に合格することも目標の一つです。学生の皆さんには、大きくても小さくても夢を持って、今しかない就活を楽しむくらいの気持ちで動いてほしいです。そうしたらいろんな企業を見るうちに「ここだ！」という場所に出会えるはずです。



取材を終えて…

こちらの進行がいらないほど自然と会話が弾み、とにかく「仲がいい！」の一言に尽きます。自由な雰囲気があって働きやすそうです。でもその「自由」とは「何をやってもいい」ということではありません。やるべき仕事をやっている、お客様から信頼されている、だからこそ得られる自由さや働きやすさなのだろうと思います。

建築が好き。人が好き。カッコイイ家を作りたい。そんなスマートな大人が集まる会社が、ディテールホームなのだと感じました。